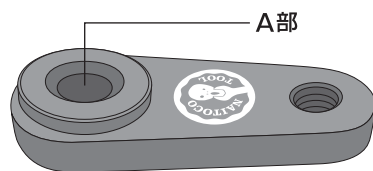


アクスルロックツール

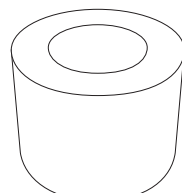


- 本ツールはドライブシャフトOUT側センターハブナット、ドライブシャフトIN側フランジ部取付ボルトなどの取付、取外し時に使用します。
- ディスクブレーキ車に使用できます。
- 駆動系を整備する際にドライブシャフトなどが空転してしまうことがありますが、本ツールを使用することで固定することができ、取外し、取付、トルク管理が容易にできます。
- 正しく、安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を遵守してご使用下さい。

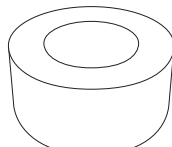
本ツール 構成



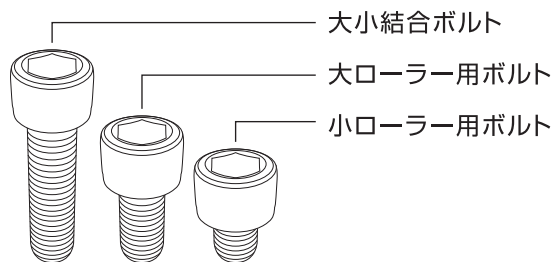
ボディ



大ローラー



小ローラー

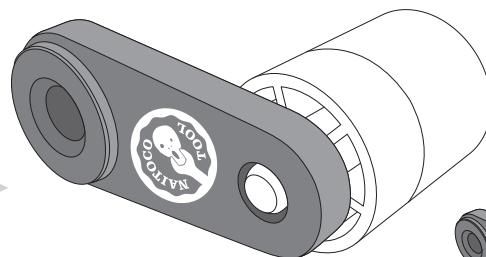
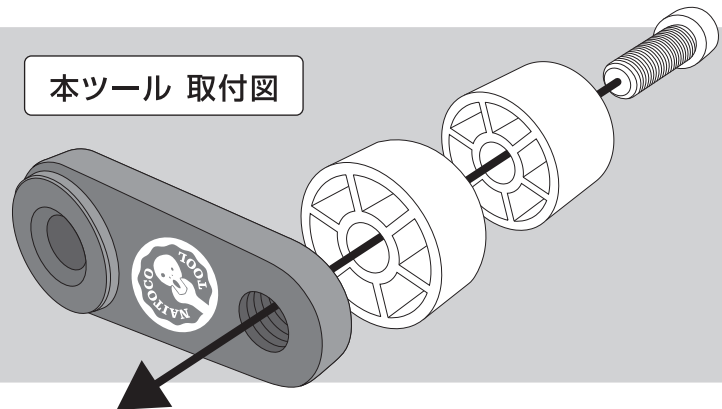


大小結合ボルト

大ローラー用ボルト

小ローラー用ボルト

本ツール 取付図



ボディとローラーを付属のボルトで取り付ける車両側構成部品の形状に対して12パターン※変化します。

※取付パターン一例

共通注意点及び使用条件

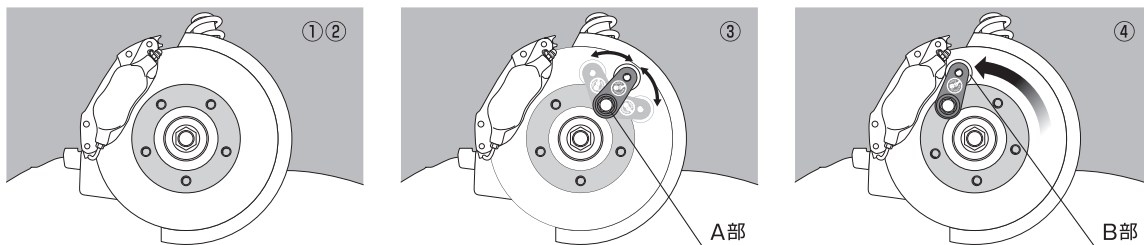
- ボディのロゴマーク面がディスクローターに平行にとりついていること。
- ボディがキャリパー本体及びキャリパー構成部品に接触していないこと。
- ローラーがディスクローター摺動面に接触していないこと。
- 条件が合えばボディのロゴ面が表裏どちらでも使用可能。
- 最大荷重 480Nm



アクスル ロック ツールの使用方法

ドライブシャフトOUT側センターハブナット(ボルト)の取外し時

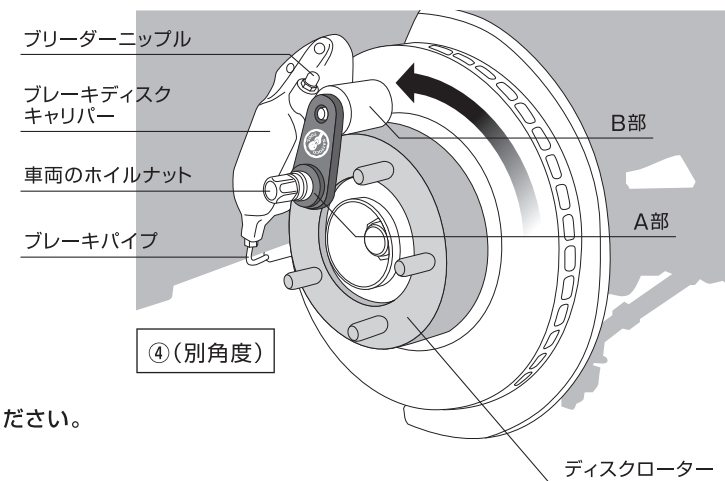
※イラストは車両左側です。



- ①車両からタイヤホイールを取り外します。
- ②センターハブナットに廻止め切り欠き、割ピンなどがある場合は外して下さい。
- ③本ツールのA部をディスクローターから出ているホイールの取付ボルトに入れ車両のホイールナットで軽く締め付けてください。その時に本ツールがA部を支点にして自由に動くようにして下さい。
- ④本ツールB部がブレーキディスクキャリパーに接触するまでセンターハブナットの弛め方向にディスクローターを回転させてください。

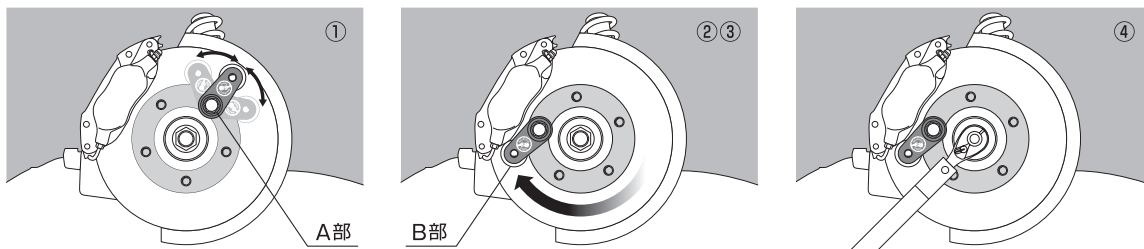
⚠ 注意1: 本ツールがブレーキディスクキャリパーのブリーダーニップル部、ブレーキパイプ部に接触する場合は使用できません。
 注意2: 本ツールB部のみディスクブレーキキャリパー本体に接触している場合にのみ使用できます。

- ⑤本ツールがディスクブレーキキャリパーに接触したらA部のホイール取付ボルトを本ツールが手で揺らして動かない程度に締め付けて下さい。
- ⑥センターハブナットを適正な工具で弛めて下さい。



ドライブシャフトOUT側センターハブナット(ボルト)の取付時

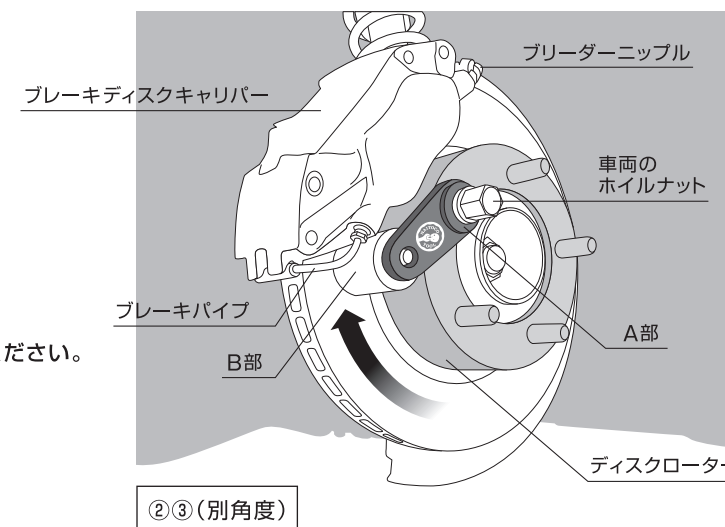
※イラストは車両左側です。



- ①本ツールのA部をディスクローターから出ているホイールの取付ボルトに入れ車両のホイールナットで軽く締め付けてください。その時に本ツールがA部を支点にして自由に動くようにして下さい。
- ②本ツールB部がブレーキディスクキャリパーに接触するまでセンターハブナットの締め付方向にディスクローターを回転させてください。

⚠ 注意1: 本ツールがブレーキディスクキャリパーのブリーダーニップル部、ブレーキパイプ部に接触する場合は使用できません。
 注意2: 本ツールB部のみディスクブレーキキャリパー本体に接触している場合にのみ使用できます。

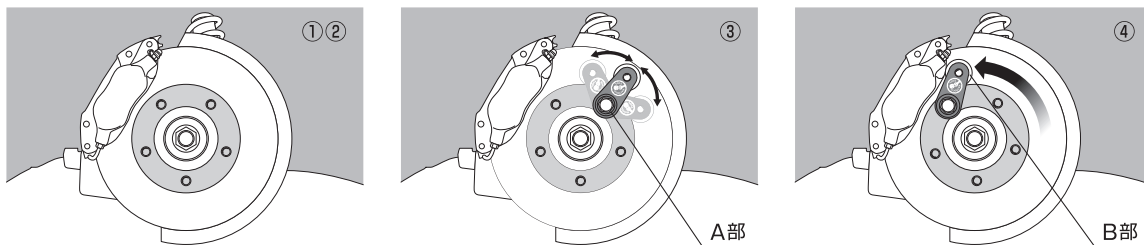
- ③本ツールがディスクブレーキキャリパーに接触したらA部のホイール取付ボルトをホイール締め付規定トルクで締め付けて下さい。
- ④センターハブナットを適正な工具で締め付けて下さい。
- ⑤トルクレンチを用いてメーカー指定の規定締め付トルクで締め付けて下さい。
- ⑥センターハブナットに廻止め切り欠き、割ピンなどがある場合は取付して下さい。
- ⑦本ツールを外して下さい。
- ⑧タイヤホイールを取り付けて下さい。



アクスル ロック ツールの使用方法

ドライブシャフト IN側フランジボルト(ナット)の取外し時

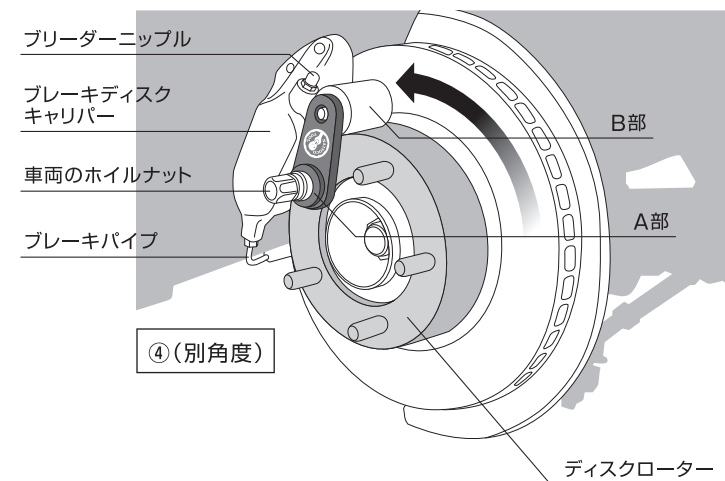
※イラストは車両左側です。



- ①車両からタイヤホイールを取り外します。
- ②本ツールのA部をディスクローターから出ているホイールの取付ボルトに入れ車両のホイールナットで軽く締め付けてください。その時に本ツールがA部を支点にして自由に動くようにして下さい。
- ③本ツールB部がブレーキディスクキャリアに接触するまでドライブシャフトIN側とデファレンシャル側フランジ部を結合しているボルト(ナット)を同じ弛め方向にディスクローターを回転させてください。

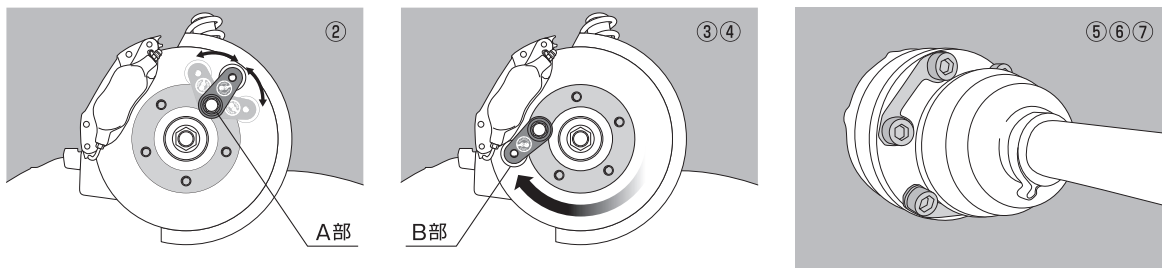
! 注意1:本ツールがブレーキディスクキャリアのブリーダーニップル部、ブレーキパイプ部に接触する場合は使用できません。
 注意2:本ツールB部のみディスクブレーキキャリア本体に接触している場合にのみ使用できます。

- ④本ツールがディスクブレーキキャリアに接触したらA部のホイール取付ボルトを本ツールが手で揺らして動かない程度に締め付けて下さい。
- ⑤ドライブシャフトIN側とデファレンシャル側フランジ部を結合しているボルト(ナット)を適正な工具で弛めて下さい。
- ⑥通常6か所程度ボルト(ナット)が付いていますが、車両構成部品が障害となりボルト(ナット)に取外しに使用する工具がアクセスしづらい場合は、本ツールを取外し、最初に取り付けたホイールの取付ボルトの隣接する取付ボルトに対して取付し、上記②から⑤の工程を繰り返して下さい。
- ⑦すべて弛めたら本ツールを外して下さい。



ドライブシャフト IN側フランジボルト(ナット)の取付時

※イラストは車両左側です。



- ①車両からタイヤホイールを取り外し
- ②本ツールのA部をディスクローターから出ているホイールの取付ボルトに入れ車両のホイールナットで軽く締め付けてください。その時に本ツールがA部を支点にして自由に動くようにして下さい。
- ③本ツールB部がブレーキディスクキャリアに接触するまでドライブシャフトIN側とデファレンシャル側フランジ部を結合させるボルト(ナット)と同じ締付方向にディスクローターを回転させてください。

! 注意1:本ツールがブレーキディスクキャリアのブリーダーニップル部、ブレーキパイプ部に接触する場合は使用できません。
 注意2:本ツールB部のみディスクブレーキキャリア本体に接触している場合にのみ使用できます。

- ④本ツールがディスクブレーキキャリアに接触したらA部のホイール取付ボルトを本ツールが手で揺らして動かない程度に締め付けて下さい。
- ⑤ドライブシャフトIN側とデファレンシャル側フランジ部を結合しているボルト(ナット)を適正な工具で締め付けて下さい。
- ⑥通常6か所程度ボルト(ナット)が付いていますが、車両構成部品が障害となりボルト(ナット)に取付に使用する工具がアクセスしづらい場合は、本ツールを取外し、最初に取り付けたホイールの取付ボルトの隣接する取付ボルトに対して取付し、上記②から⑤の工程を繰り返して下さい。
- ⑦ドライブシャフトIN側とデファレンシャル側フランジ部を結合しているボルト(ナット)をトルクレンチを用いてメーカー指定の規定締付トルクで締め付けて下さい。また車両構成部品が障害となりボルト(ナット)にトルクレンチがアクセスしづらい場合は、本ツールを取外し、最初に取り付けたホイールの取付ボルトの隣接する取付ボルトに対して取付し、上記②から⑤の工程を繰り返し規定トルクで締め付けて下さい。
- ⑧すべて規定トルクで締め付けしたら本ツールを外して下さい。
- ⑨タイヤホイールを取り付けて下さい。

